



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 三愛石油株式会社

上場取引所 東

コード番号 8097 URL <http://www.san-ai-oil.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金田 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 馬郡 義博

TEL 03-5479-3180

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	469,696	15.4	2,983	30.9	3,409	33.4	1,413	—
25年3月期第2四半期	406,905	△9.2	2,278	△49.8	2,556	△47.2	△1,115	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,544百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △183百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	19.19	—
25年3月期第2四半期	△15.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	198,170		69,121		34.3	
25年3月期	215,220		66,123		30.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 67,849百万円 25年3月期 64,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	6.50	—	7.00	13.50
26年3月期	—	6.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	910,000	3.1	6,300	△18.0	7,000	△17.0	3,600	36.5	48.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	74,000,000 株	25年3月期	74,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	323,336 株	25年3月期	296,539 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	73,694,256 株	25年3月期2Q	74,057,316 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出に持ち直しの動きがみられ、生産も増加するなど、緩やかな回復基調で推移した。

当社グループを取り巻くエネルギー業界においては、低燃費車の普及など、環境意識の高まりから石油製品の需要が停滞するなど、厳しい経営環境が続いた。

こうしたなかで、当社グループにおいては、積極的な営業活動と経費の節減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比15.4%増の4,696億96百万円、営業利益は前年同期比30.9%増の29億83百万円、経常利益は前年同期比33.4%増の34億9百万円、四半期純利益は14億13百万円となった(前年同期は投資有価証券評価損の計上などにより11億15百万円の四半期純損失)。

セグメント別の状況は以下のとおりである。

① 石油関連事業

<石油製品販売業>

石油業界においては、ガソリンや軽油の需要が猛暑の影響などから堅調に推移したものの、重油の需要が大幅に減少したことから、燃料油全体では前年同期を下回った。

こうしたなかで、当社グループにおいては、新規特約店の獲得など積極的な営業活動とSSにおける販売力の強化に努めた。

当社においては、2013年SS経営戦略である「共走共汗2013～変化をチャンスに～」によるリテールサポートを継続し、SSスタッフの技術力と販売力の向上を目的とした「次世代自動車対応スペシャル研修」や「洗車接客サービスコンテスト」を開催するとともに、「年間グランプリ」や「シーズンチャンピオン」など販売促進策を実施した。また、新たに内容を強化した「オブリカードNeo」を発行し、会員の固定化を推進するなど、特約店とSS会社の経営体質の強化を図った。産業用については、風力発電所や食品工場向けに高付加価値製品である合成潤滑油の拡販に努めた。

<化学品製造販売業>

当社グループにおいては、洗車機用ワックス・撥水コートをはじめとする自動車関連商品、防腐・防霉剤、微生物簡易測定器具(サンアイバイオチェッカー)などの自社製品、石油系溶剤、酢酸エチルなどの工業薬品および粘接着剤(タッキファイヤー)の積極的な販売により、営業基盤を拡大するとともに、新規需要の開拓に努めた。また、研究所では東洋理研株式会社と共同して、顧客ニーズに対応した環境負荷の少ない安全性に優れた商品の開発・改良に努めた。

その結果、石油関連事業における売上高は、販売数量の増加や販売価格の上昇により前年同期比16.3%増の4,346億99百万円となり、セグメント利益は、売上総利益の増加や営業費の節減により前年同期比294.7%増の16億75百万円となった。

② ガス関連事業

<LPガス販売業>

LPガス業界においては、家庭・業務用の需要が省エネ機器の普及や猛暑の影響などから、前年同期を下回った。

こうしたなかで、当社グループにおいては、「エネルギーは次のステージへ」をスローガンに掲げ、「挑戦する勇氣」「行動する力」「継続する意志」「達成する喜び」をキーワードに、「住マイルキャンペーン2013」の実施のほか、LPガス顧客向けの冊子である「オブリあおぞら通信」や「オブリスタイル」の配布などにより、顧客との接点強化に努め、太陽光発電システムおよび高効率ガス機器などの拡販を図った。保安面においては、「1日保安ドック」の実施や「保安ドクター研修」の開催を継続することで、保安の確保と信頼獲得に努めた。

<天然ガス販売業>

当社においては、総合的なエネルギー供給を提案するなど積極的な営業活動をおこない、新たな顧客の獲得に努めるとともに、川崎エネルギーセンターのエネルギー供給能力を高めるため、熱源機器の増強工事を完了した。また、佐賀天然ガスパイプラインについては、その運営と安全確保に万全を期した。

佐賀ガス株式会社においては、ガス展や料理教室を開催するなど新たな需要の促進を図るとともに、都市ガスの安定供給と保安の確保に努めた。

その結果、ガス関連事業における売上高は、販売価格の上昇により前年同期比10.5%増の283億73百万円となったものの、セグメント利益は、利幅の縮小などにより前年同期比13.2%減の7億3百万円となった。

③ 航空関連事業他

<航空燃料取扱業>

羽田空港においては、国内線の増便や国際定期便の就航により、燃料搭載数量は前年同期を上回った。

こうしたなかで、当社グループにおいては、航空機給油施設の運営と給油業務における安全確保に万全を期した。また、来春以降に年間発着回数を44.7万回とする国の増枠計画に対し、給油施設の拡張工事を着実に進めるとともに、給油体制の強化を図った。

<その他>

三愛プラント工業株式会社においては、半導体関連および液晶業界からの需要が低調で、大型物件の受注がなかったことから、金属表面処理業の売上高は前年同期並みにとどまった。また、建設工事業の売上高も前年同期並みにとどまった。

その結果、航空関連事業他における売上高は、施設使用料の価格改定により前年同期比9.5%減の66億24百万円となり、セグメント利益は、前年同期比32.9%減の8億88百万円となった。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ170億49百万円減少し、1,981億70百万円となった。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少によるものである。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ200億47百万円減少し、1,290億49百万円となった。これは主に、支払手形及び買掛金の減少や有利子負債の返済によるものである。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億97百万円増加し、691億21百万円となった。これは主に、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したことによるものである。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.1%から34.3%となった。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より111億16百万円減少し、391億9百万円となった。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は67億46百万円となった。これは主に、仕入債務の減少によるものである。なお、前年同期は53億56百万円の資金の獲得であった。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は17億16百万円となった。これは主に、有形固定資産の取得によるものである。なお、使用した資金は前年同期比13億39百万円増加している。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は26億53百万円となった。これは主に、有利子負債の返済によるものである。なお、使用した資金は前年同期比33億39百万円減少している。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

景気の先行きや原油価格の動向などが不透明であり、連結業績予想については、平成25年5月14日に公表した数値を修正していない。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項なし。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項なし。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項なし。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,189	39,183
受取手形及び売掛金	71,721	61,620
有価証券	140	130
商品及び製品	7,924	10,307
仕掛品	48	186
原材料及び貯蔵品	90	87
その他	2,274	2,482
貸倒引当金	△187	△182
流動資産合計	132,203	113,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,931	59,360
減価償却累計額	△37,781	△38,026
建物及び構築物（純額）	22,149	21,334
機械装置及び運搬具	30,168	30,161
減価償却累計額	△22,337	△22,612
機械装置及び運搬具（純額）	7,830	7,548
土地	22,055	21,852
その他	6,400	6,810
減価償却累計額	△4,174	△4,226
その他（純額）	2,226	2,584
有形固定資産合計	54,262	53,319
無形固定資産		
のれん	4,836	4,417
その他	1,488	1,308
無形固定資産合計	6,324	5,725
投資その他の資産		
投資有価証券	18,409	21,397
その他	4,232	4,158
貸倒引当金	△212	△245
投資その他の資産合計	22,429	25,309
固定資産合計	83,016	84,355
資産合計	215,220	198,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,244	70,809
短期借入金	1,715	1,335
1年内返済予定の長期借入金	6,773	5,050
1年内償還予定の社債	3,200	3,000
未払法人税等	2,544	1,299
賞与引当金	1,617	1,493
役員賞与引当金	79	38
資産除去債務	10	21
その他	9,524	8,118
流動負債合計	111,709	91,167
固定負債		
社債	4,000	1,000
長期借入金	15,173	18,597
退職給付引当金	3,579	3,385
役員退職慰労引当金	519	429
特別修繕引当金	406	437
訴訟損失引当金	326	326
資産除去債務	571	561
その他	12,811	13,145
固定負債合計	37,387	37,882
負債合計	149,097	129,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	6,953	6,953
利益剰余金	47,566	48,520
自己株式	△102	△113
株主資本合計	64,543	65,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,207	3,306
繰延ヘッジ損益	△3	—
土地再評価差額金	△887	△943
その他の包括利益累計額合計	315	2,362
少数株主持分	1,263	1,271
純資産合計	66,123	69,121
負債純資産合計	215,220	198,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高		
商品売上高	405,953	468,877
完成工事高	951	818
売上高合計	406,905	469,696
売上原価		
商品売上原価	382,328	445,504
完成工事原価	810	707
売上原価合計	383,138	446,212
売上総利益	23,766	23,484
販売費及び一般管理費	21,488	20,501
営業利益	2,278	2,983
営業外収益		
受取利息	320	306
受取配当金	261	283
軽油引取税交付金	123	103
貸倒引当金戻入額	9	0
その他	149	237
営業外収益合計	864	930
営業外費用		
支払利息	517	473
貸倒引当金繰入額	3	—
その他	66	31
営業外費用合計	586	504
経常利益	2,556	3,409
特別利益		
固定資産売却益	409	26
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	409	28
特別損失		
固定資産除売却損	299	156
減損損失	273	255
環境対策費	6	35
投資有価証券評価損	3,637	—
退職給付費用	49	—
特別損失合計	4,265	447
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,298	2,990
法人税、住民税及び事業税	551	1,384
法人税等調整額	△800	165
法人税等合計	△249	1,550
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,048	1,439
少数株主利益	67	25
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,115	1,413

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△1,048	1,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	865	2,101
繰延ヘッジ損益	—	3
その他の包括利益合計	865	2,104
四半期包括利益	△183	3,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△236	3,516
少数株主に係る四半期包括利益	53	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,298	2,990
減価償却費	2,420	2,204
のれん償却額	512	429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△66	27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△220	△123
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△51	△41
退職給付引当金の増減額(△は減少)	154	△194
受取利息及び受取配当金	△582	△590
支払利息	517	473
有形固定資産除売却損益(△は益)	△332	106
減損損失	273	255
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	3,637	—
売上債権の増減額(△は増加)	10,797	10,101
たな卸資産の増減額(△は増加)	△668	△2,516
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△823	△365
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,322	△15,434
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△240	△1,250
その他	31	△289
小計	8,737	△4,219
利息及び配当金の受取額	573	582
利息の支払額	△547	△506
法人税等の支払額	△3,406	△2,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,356	△6,746
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△273	△212
投資有価証券の売却による収入	0	7
有形固定資産の取得による支出	△987	△1,455
有形固定資産の売却による収入	1,070	92
無形固定資産の取得による支出	△254	△60
関係会社株式の取得による支出	—	△18
その他	67	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376	△1,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	△380
長期借入れによる収入	—	5,400
長期借入金の返済による支出	△2,063	△3,698
社債の償還による支出	△2,700	△3,200
自己株式の取得による支出	△246	△10
配当金の支払額	△633	△515
少数株主への配当金の支払額	△20	△12
その他	△229	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,992	△2,653
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,012	△11,116
現金及び現金同等物の期首残高	50,581	50,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,569	39,109

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連事業	ガス関連事業	航空関連事業 他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	373,907	25,673	7,323	406,905	—	406,905
セグメント間の内部売上 高または振替高	653	26	234	913	△913	—
計	374,561	25,700	7,557	407,819	△913	406,905
セグメント利益	424	811	1,324	2,560	△3	2,556

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去△7百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益3百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

事業環境の悪化等により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上している。なお、当該減損損失の計上額は、当第 2 四半期連結累計期間において「石油関連事業」で1億92百万円、「ガス関連事業」で31百万円および「航空関連事業他」で6百万円である。

Ⅱ 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連事業	ガス関連事業	航空関連事業 他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	434,699	28,373	6,624	469,696	—	469,696
セグメント間の内部売上 高または振替高	783	9	259	1,052	△1,052	—
計	435,482	28,383	6,883	470,749	△1,052	469,696
セグメント利益	1,675	703	888	3,267	141	3,409

(注) 1. セグメント利益の調整額 1 億41百万円には、セグメント間取引消去△11百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益 1 億53百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

事業環境の悪化等により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上している。なお、当該減損損失の計上額は、当第 2 四半期連結累計期間において「石油関連事業」で 1 億87百万円、「ガス関連事業」で 63百万円および「航空関連事業他」で 0 百万円である。